

教育委員会だより

「練習から逃げて」「みんなと違って好きなことをしていて都合がいいように」「見えて

しまうことが生じることがあります。その結果、子どもに対して「なんで？」と責めてしまったり、「ちゃんとしなさい」と追いつめてしまうなどして悩まれている保護者やご家族の方、先生方の相談を受けることが多々あります。その子どもの近くにおいて理解して支えていこうとされている分、このような場面に直面した時の「心の揺れ」は大きいものです。

学校における行事というのは日頃の練習の成果、日々の積み重ねを披露する場です。同じことを何度も繰り返すことで、少しずつ出来るようになっていって、それぞれの力を合わせる過程を大切にすることもあります。そのような時に「やれば

「実際に子どもが何を苦しんでいるのかわからなくて…」「やらなくてはいけないことから逃げていっているように見えてしまっんです」

なぜこのようなことが起きてしまうのか…。行事の練習時期になると、日常の授業とは異なる日課になること自体に抵抗感をもつ子どもがいることもあります。このように感じてしまうと、行動としては練習への参加に強い抵抗や拒否を示す子どももいたり、周囲から客観的にみる限りではできているにも関わらず当日休んでしまっということもあります。

発達障がいが見えなくても、障がいではありません。そのため子どもをとりまく環境においては小さな気づきと理解、そして保護者やご家族の方にとっては「対応のための環境づくり」も大切です。一概に発達障がいと言っても、すべての子どもに個性があるように、同じように発達障がいの子どもの個性があります。一人ひとりと向き合っていけるようになるといいですね。

音楽会や運動会など「行事」の練習の時期になると、発達障がいの子どもの中には、「自分はどうしているの？」「なんで何度か同じことをやるのか?」「全体が注意や叱責を受けているような場面であっても「自分だけ怒られた」「僕はできていないんだ」「何度も同じことをやってや」

なぜこのようなことが起きてしまうのか…。行事の練習時期になると、日常の授業とは異なる日課になること自体に抵抗感をもつ子どもがいることもあります。このように感じてしまうと、行動としては練習への参加に強い抵抗や拒否を示す子どももいたり、周囲から客観的にみる限りではできているにも関わらず当日休んでしまっということもあります。

発達障がいが見えなくても、障がいではありません。そのため子どもをとりまく環境においては小さな気づきと理解、そして保護者やご家族の方にとっては「対応のための環境づくり」も大切です。一概に発達障がいと言っても、すべての子どもに個性があるように、同じように発達障がいの子どもの個性があります。一人ひとりと向き合っていけるようになるといいですね。

い・い・ら・ば

「JUNO」レポーター



スクールサポーター
(臨床心理士)
小林 真理


「リゾートコンサートイン軽井沢」重要文化財・旧三笠ホテルにて開催します

～軽井沢の歴史的文化的遺産にて素敵な音楽を生演奏でお届けします～

と き	8月13日(火)・14日(水)・15日(木) 11時～11時30分、14時～14時30分(1日各2回公演)
ところ	重要文化財・旧三笠ホテル ロビー
入館料	大人 400円・小中高生 200円
出演	弦楽四重奏 Quantize (クオンタイズ) ヴァイオリン: 向江陽子・武田圭司 ヴィオラ: 川島夏奈江 チェロ: 吉田智郷
曲 目	ジブリメドレー ディズニーメドレー アレクサンドル・ボロディン/弦楽四重奏曲第2番 二長調 他

♪演奏時間等は、変更になる場合があります。

♪席に限りがありますので、立ち見となる場合もあります。



【問い合わせ】文化振興係 ☎45-8695